

近畿都市学会報

第184号

2013年8月30日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■ 近畿都市学会事務局

〒631-8502

奈良市山陵町1500

奈良大学文学部地理学教室内

近畿都市学会 事務局長（酒井高正）

> Eメール：info@kintoshi.org

> ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

> 電話：0742-41-9539

会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できます。

ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）

当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ

■ 近畿都市学会編集委員会 宛先

（原稿等はすべてこちらにお願いします）

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科内

近畿都市学会 編集委員会

（担当）副編集長：小長谷一之

> 電話：090-4649-2590

> ファックス：072-721-0064

> Eメール：konagaya@zc4.so-net.ne.jp

1. 2013（平成25）年度秋季大会のお知らせ（予定）

2013年度秋季大会は、熊取町の御協力を得て開催いたします。

（詳細につきましては、次号（第185号）にてお知らせします）

【日時】2013年11月30日（土）

（エクスカーショ（予定）9：10～、（発表（予定）12：30～

【発表会場】熊取交流センター煉瓦館「コットンホール」

（1）9：10～12：00ごろ エクスカーショ《事前申込制》

【集合時刻】午前9時10分（当日連絡先：担当井上090-8880-4610）

【集合場所】南海ウイング南部バス「熊取駅前」3番乗り場

【コース】

①熊取駅前バスのりば3番（山の手台・小谷行き）9：20発＜運賃190円＞（このバスの始発は南海電車「泉佐野駅前」9：10発熊取駅前経由小谷方面＜運賃290円＞）

→②「山の手台口」9：27着 下車 「阪上織布(株)工場」見学

→④「山の手台口」10：15発＜運賃160円＞

→⑤「小谷」10：19着 下車 「ひまわりドーム（総合体育館）」見学

→⑥「つばさが丘北口」（熊取駅前行き）11：16発＜運賃280円＞

→⑦「大久保」11：32着下車→徒歩→煉瓦館11：40着

（2）11：40～12：30 昼食休憩 「レストラン フードル」等で

（3）12：30～12：35 山田浩之会長挨拶

（4）12：35～13：30 特別講演 熊取町長 中西誠氏

（5）13：40～17：00 一般研究報告

（6）17：30～19：00 懇親会「レストラン フードル」＜（予定）会費5000円（学生2500円）＞

★【申込方法】資料、昼食、懇親会の予約の関係がございますので、参加者には、申込は以下の点電子メールにて事務局へ（電子メールの使えない方は郵便はがきにて）。

① エクスカーションの参加の有無

② 懇親会の参加の有無

締切は11月20日とします。

★例年自治体開催である秋季大会は、大阪府熊取町のご協力を得て、熊取町中心部で実施することとなりました。文化資源・科学施設にめぐまれた熊取町のまちづくりについて町長にご講演いただき、エクスカーションでは、熊取町の地域資源を見ていきます。

【研究報告の募集】

①研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名（所属と連絡先を必ず明記して下さい）、および報告する際の使用希望機器（原則としてPC用プロジェクターに限る）を明記したものを、**10月16日（水）必着で近畿都市学会事務局まで**、原則として電子メールでお送り下さい。

②報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**10月23日（水）必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで**、基本的に電子メール（テキストファイルによるメールが望ましい）でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝（英数はcentury）とし、図表を含めて、1200字以内とします。図表は、エクセルや画像の形式で、電子メールでお送りください。

II. 近畿都市学会2013（平成25）年度春季大会のご報告

近畿都市学会の2013年度春季大会は、兵庫県と共催で、2013年6月15日（土）に、「兵庫県公館」で開催され、近畿都市学会山田浩之会長による挨拶の後、「ハイテク産業クラスターと地域経済」というテーマで挨拶・講演・シンポジウムが行われました。

まず、兵庫県副知事 金澤和夫氏、稲田義久氏（甲南大学教授）「関西の成長戦略と特区構想－その役割とマネジメント」Thomas Jonnson氏（Midicon Valley Alliance Life Science Ambassador）「メディコンバレークラスターの成立と戦略の変化」の御講演のあと、稲田義久氏、Thomas Jonnson氏と、兵庫県立大学教授である加藤恵正近畿都市学会評議員とで鼎談を開催しました。

ひきつづき以下の一般発表研究報告、大会参加者約60名による活発な討論がおこなわれ、パレス神戸（兵庫県公館隣接）における懇親会（参加者16名、招待者を除く）もふくめて、盛況のうちに終わりました。

[1] 「GISを用いた避難所配置に関する研究－和歌山県田辺市を事例として－」

北島理司（大阪市立大学大学院 創造都市研究科都市情報学専攻 院）

[2] 「都市近郊における大学城の形成と地域空間の変貌

－中国済南市章丘大学城の開発を事例として－」

劉英威（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 院）

[3] 「京都の観光まちづくりについて－事例紹介を中心として－」

村田和繁（京都市）・白須正（京都市）

[4] 「地域資源の活用と国際観光の可能性について－九州地方を事例に－」

朝田康禎（熊本大学法学部准教授）

- [5] 「グローバル化と知識経済下の大阪湾ベイエリア
ーラーニング・クラスター形成への提案ー」
加藤恵正（兵庫県立大学政策科学研究所教授）
- [6] 「K O B E 鉄人 P R O J E C T の経済波及効果」
前川知史（神戸ファッション造形大学教授）

III. 「都市研究」第13巻 ふるってご投稿ください！

【都市研究第13巻の査読論文の公募について】（編集長：綿貫伸一郎）

第13巻の査読論文を募集いたします。**締切りは（延長し）2013年11月末日とします。**執筆要項は『都市研究』の各号に掲載しておりますので、会員のみなさまのご投稿をお待ちしております。**（バックナンバーは巻頭の事務局までご連絡ください）。**なお、投稿は巻頭の編集委員会までお願いいたします。

IV. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2013年度第2回理事会は、日時：2013年8月27日（火）に大阪
市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第2ビル6階）で開催され、2013年度秋
季大会（熊取町）、2014年度春季大会（奈良大学を予定）、2014年度秋季合同大会
（日本都市学会と合同、京都市内予定）、55周年記念事業『都市構造と都市政策』を検討
しました。

V. 近畿都市学会55周年記念事業 『都市構造と都市政策』

『都市構造と都市政策』近畿都市学会（日本都市学会近畿支部）編：21世紀に入り、
人口減少・高齢化時代を迎え、サステイナブルな都市づくりが求められています。また産
業空洞化により、新たな経済・文化活動を生み出す力にあふれたクリエイティブな都市づ
くりも求められています。都市計画・まちづくりの新たなパラダイム転換期にあたる21
世紀初頭に、近畿都市学会55周年を記念して本書を刊行いたします。

【内容検討紹介】「都市構造の変容（交通）」「都市構造の変容（歴史）」「コンパクトシティ」
「交通」「人口減少」「高齢化社会」「郊外論」「ニュータウン」「中心市街地の衰退と再生」
「都心回帰」「オフィス」「住宅」「商業」「物流」「工業」「都市型新産業（産業クラスター）」
「都市型新産業（IT等）」「学術研究都市」「GISと都市づくり（市民参加）」「都市文化」
「観光」「医療・福祉」「市民参加」「歴史的まちづくり」「行財政論」「都市経営（PFIな
ど）」「防災」「海外の都市政策の動向」

VI. 日本都市学会第60回大会（中四国担当、高松市で開催）

日本都市学会第61回大会（近畿担当、京都市で開催予定）のお知らせ。

日本都市学会第60回大会（2013年度）は、中四国都市学会が担当し、2013年
10月25日（金）・26日（土）・27日（日）に、香川県高松市において、「地方都市と
国際化・国際交流」をテーマに開催する予定です。**日本都市学会第61回大会（2014
年度）は、当、近畿都市学会が担当し、京都で開催の予定です。**

詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整
をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ
<http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。

Ⅶ. 事務局より（会員異動）

<種別変更>

普通会員→名誉会員（近畿のみ） 金坂清則

<退会>

2012年度途中 角谷弘喜、中島克己

2012年度満了 芦田英機、石井裕介、臼井冬彦

Ⅷ. 2013（平成25）年度総会、および理事会等の結果

春季大会において、2012年度決算、2013年度予算等、会則改正等が、以下の通りに承認されました。

■会則の改正

①第3章 第7条 【改正前】70才を超えた者 → 【改正後】70歳程度に達した者

<新条文> 第3章 会員

第7条 普通会員として入会しようとする者は理事会の承認を経なければならない。特別会員は特に財政上の援助をなした個人または団体について、理事会の承認を得て推薦した者をもってする。名誉会員は、長年にわたって役員をつとめる等貢献があり、70歳程度に達した者で理事会の承認を得て推薦したものとする。

②附則 【改正前】2004年6月19日 → 【改正後】2013年6月15日

<新条文> 附則 本会則は、2013年6月15日から施行する。

【2013年度役員（原則としてアイウエオ順、任期2013年6月～2014年5月）】

（会長）山田浩之

（理事）編集：綿貫伸一郎（委員長）、小長谷一之、佐々木雅幸、松澤俊雄

集会：山崎健（委員長）、石田信博、久隆浩

庶務：酒井高正（事務局長）、井上馨、碓井照子、實清隆

（評議員）井出光、稲垣稜、香川貴志、加藤一誠、加藤恵正、坂西明子、

佐藤彰男、佐野光彦、関根秀和、醍醐昌英、高山正樹、淡野明彦、寺本光雄、

徳岡一幸、長尾謙吉、中川万喜子、藤井正、前川知史、増田昇、三輪康一、

文世一、安田孝、安田丑作、山田誠

（監査）野口隆、水野真彦

（幹事）井垣貴子、上田恵美子、牛場智、久保秀幸、後藤暁夫、中西久雄、

村田和繁、吉川浩

（事務局）奈良大学文学部地理学教室（酒井高正研究室）

【名誉会員】

名誉会員（日本都市学会在籍）：小杉八朗、小森星児、竹村保治、成田孝三、西川幸治

名誉会員（近畿のみ）：天野光三、石原照敏、大久保昌一、岡本登太郎、倉田和四生、

近藤公夫、田口芳明、鳴海邦碩、西田彦一、宮本憲一、三輪雅久、安井司、

山本剛郎、吉井藤重郎、金坂清則（2013年度新規）

【参考：日本都市学会関係】2013年度分

（理事）<支部会長理事>山田浩之 <支部選出理事>山崎健、久隆浩

（常任理事）小長谷一之

（監事）高山正樹

■近畿都市学会2012年(平成24年)度決算 (2012年4月13日～2013年4月30日)

収入の部	予算額	決算額	備考
会費	¥1,200,000	¥1,051,000	
寄付・その他	¥200	¥39	預金利子
前年度繰越金	¥479,006	¥479,006	ゆうちょ¥101,000、南都¥310,758、現金¥67,248
計	¥1,679,206	¥1,530,045	
支出の部	予算額	決算額	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥496,000	2012年度分124口(在籍147名×85%)
大会運営費	¥170,000	¥57,545	春季大会、秋季大会
会議費	¥10,000	¥0	
印刷費	¥420,000	¥301,350	「都市研究」11号、会報第178-181号
人件費	¥30,000	¥30,000	発送アルバイトなど
通信費	¥120,000	¥102,150	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥90,000	¥33,620	日本都市学会理事会(東京)会長交通費など
消耗品費	¥40,000	¥15,077	
雑費	¥10,000	¥4,305	振込手数料、大会下見手土産
予備費	¥149,206	¥10,920	「21世紀の都市像」5冊買取
積立金	¥100,000	¥100,000	創立55周年記念出版用(南都¥100,000)
次年度繰越金	¥0	¥379,078	ゆうちょ¥32,000、南都¥316,472、現金¥30,606
計	¥1,679,206	¥1,530,045	

※本年度総会(6月15日)での配布資料で、2012年度予算額欄の一部数字について誤りがありました。ここでは昨年度総会で承認を受けた2012年度予算の正しい数字を記載しています。

■近畿都市学会2013年(平成25年)度予算 (2013年5月1日～2014年4月30日)

収入の部	予算額	前年度比	備考
会費	¥1,200,000	¥0	
寄付・その他	¥200	¥0	銀行金利を含む
積立金	¥100,000	¥100,000	創立55周年記念出版用(南都¥100,000)
前年度繰越金	¥379,078	¥-99,928	ゆうちょ¥32,000、南都¥316,472、現金¥30,606
計	¥1,679,278	¥72	
支出の部	予算額	前年度比	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥0	年報47号(2013年度)
大会運営費	¥150,000	¥-20,000	
会議費	¥10,000	¥0	理事会等
印刷費	¥420,000	¥0	『都市研究』第12号、会報各号
人件費	¥30,000	¥0	
通信費	¥120,000	¥0	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥50,000	¥-40,000	日本都市学会理事会(名古屋)会長交通費等
消耗品費	¥40,000	¥0	
雑費	¥10,000	¥0	
積立金	¥0	¥-100,000	
予備費	¥309,278	¥160,072	創立55周年記念出版を含む
計	¥1,679,278	¥72	

■ 近畿都市学会入会（日本都市学会同時入会）のおすすめ

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいませよう切に希望する次第です。

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 『日本都市学会ニュース』を年2回発行。[日本都市学会事業]
- (5) 近畿都市学会大会を年2回開催（春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体）。
- (6) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (7) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、まちづくり賞、共同賞）の授与。[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読、投稿の機会。
- (4) 上記、『日本都市学会ニュース』（年2号）の購読の機会。
- (5) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。
- (6) 上記、日本都市学会大会（年1回）への参加、発表の機会。
- (7) 上記、日本都市学会賞の授与対象となる機会。
- (8) 他地域都市学会の大会等への参加、発表の機会。

※日本都市学会は地域都市学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500 奈良大学文学部地理学教室（酒井研究室）内
近畿都市学会事務局長 酒井高正

①ホームページ：<http://www.kintoshi.org> ②Eメール：info@kintoshi.org